

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
大地とともに育つ子 ～感じる・学ぶ・未来～	感じる力 学びに向かう力 未来を創る力

### (2) 中期取組目標

中期取組目標
本校の豊かな自然環境やまちの特色をいかした「三耕教育」を実践し、子どもが夢や希望をもって、なりたい自分をデザインしたり、まちの一員として発信したりすることができる学校を目指します。

### (3) 路耕の重点取組分野・具体的取組 (豊かな心の育成を含む)

重点取組分野	具体的取組
児童指導 地域連携	①年度始めに児童指導の方向性を全教職員で共有し、一貫した指導を実践する。また懇談会等で保護者とも共有し、共に児童の健全育成に努める。 ②多面的に児童を理解できるよう、全職員で共有する時間を設ける。 ③チームマネジャーの配置や教科分担制など全職員で児童の健全育成に取り組む。 ④日本の伝統文化にふれる「路耕の時間」を見直し、児童がその良さを実感できるように取り組む。 ⑤児童が社会とつながっていることが実感できるよう、地域の材を活用した教育活動に取り組む。
担当 児童指導 路耕	

## 2 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」に関わる課題)

本校の児童は、素直で一生懸命取り組むことができる。日頃から、学校・地域で連携して子どもたちの育ちを見守ろうとしており、安心して落ち着いて学習に取り組もうとしている子が多い。また、運動会、浅間台小フェスティバル、栽培活動(浅間台小マルシェ)などでは、一丸となって取り組み、一体感や達成感を味わっている。しかしながら、今の自分の状況に満足し、高い目標をもってよりよい自分を目指そうとする向上心や、つらくても最後までやりとげようとする気落ちにはまだ課題が見られる。

## 3 路耕に関する具体的取組(豊かな心の育成を含む)

### 【項目：道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育 (必須項目)

本校で育てたい資質・能力である「感謝の思い」「思いやり」「善悪の判断」を中心に、日々の学校教育を行っていく。具体的には、路耕の活動の「剣道」「茶道」「将棋」では、講師の先生へ「感謝の思い」や他者に対する「思いやり」の気持ちを育てていき、しごと体験では、体験活動を通してお世話になった職場の方々への「感謝の思い」やお客さん・利用者さんへの「思いやり」の気持ちを育てていく。

また、日々の生活の中で「善悪の判断」を身に付けられるように指導していく。

### 【項目：剣道・茶道・将棋】

地域の方々の講師に迎えた剣道・茶道・将棋を学習することを通して、日本文化のよさや伝統を知り、「立ち方」「座り方」「正座」「立礼の仕方」「座礼の仕方」「歩き方」「指し方」等を繰り返し学習し、礼儀作法を身に付けることで、他者に対する思いやりの心や相手に合わせる心を育てる。